

20 たんけんクラブ「鈴鹿川をボートでたんけん」と生き物かんさつ」に参加

鈴鹿川たんけんクラブでは、楠地区市民センター夏の行事「鈴鹿川をボートでたんけん」と生き物かんさつ」に、ボートでたんけん担当で参加しました。この行事には生き物かんさつ担当で環境センターの皆さんのほか、楠地区まちづくり協議会、社会福祉協議会ほかの皆さんも参加して、子どもたちをお迎えしました。

二つの行事のほか、でっかいシャボン玉や浜焼きパンづくり、最後にスイカも出るという楽しみいっぱいの行事となりました。行事を計画推進したセンター員の皆さん、ご苦労様でした。

8月2日(日)8時半ごろ、準備係が到着。テントが設置されました。



楠文流会館前を出発した参加者が到着しました。早速、でっかいシャボン玉もつくりました。



テント前では、今回新たに作ったのほり旗とともに、「鈴鹿川たんけんクラブ」員が出迎えました。



10時過ぎ、説明を聞き終えた参加者は、「生き物かんさつ」と「ボートでたんけん」の二班に分かれて活動開始。



全体の状況は、楠まちコミの記者が記録に撮っています。そちらも見て下さいね。



今回はボート遊びの場所を南楠側に替えたので、のびのび遊べています。北楠側の浅瀬で生き物かんさつを行っています。



今年も3人の中学生が駆け付けてくれて、始めから終わりまでクラブのジーちゃんたちを助けてくれました。ありがとう！



竹筏に乗る子どもの向こう側、のぼり旗近くで見守るのが3人目の中学生です。



たんけんクラブ員に助けられてこれはラクチン。でも自分でも漕ぎたいなー



南楠側の河口でボート遊びをやって分かったことがひとつ。けっこうジミがとれること！水が透明なので簡単にとれるのだ。



今回、竹製筏を1台作ったが、なかなか好評。不安定さが面白い？
でも浮力が十分でなかったのが来年の課題かな・・・



お昼に近づくにつれて水位が下がり、水面に鳥が現れた。
そろそろパン焼きの時間だ。スイカも待ってるよ！